## 意見募集・住民説明会における意見と河川管理者の回答、流域委員会の見解

①大分類	②小分類	意見	河川管理者の回答	流域委員会の見解
概略ルート 案に対する 意見	支持する	5件(地域の分断も少なく、コストも抑えられると思われる)	概略ルート(案)比較表の評価項目に新たに追加する項	対応を確認した。住民説明会にていただいたご意見
	支持しない	2件(B ルートのメリットがあまりないように思う。津波と塩害対策を考えると高速道路の西側が良い。)	目や評価の相違点を指摘するようなご意見はございません	やご質問については、引き続き、分かりやすく事例
	判断できない	3件(Bルートで決定なのか。優位ではわからない。どのルートになるにしても早く決めてほしい。地下洞道に	でした。	を示して説明して頂きたい。一部事業反対のご意見
		一番近いが大丈夫か。)	概略ルート決定以降もさらに詳細な情報をご提供すると	もあるが、全体としては、Bルートの優位性を改め
	整備計画ルートを支持する	2件(土地を活用してほしい。神社仏閣は動かさないでほしい。)	ともに、ご発言に至るお考えを伺う機会を設けて、ご理解	るようなご意見はなかったと判断し、Bルートで放
			が深まるよう努めて参ります。	水路をつくるということが妥当であると判断した
				い。
		【今後の生活について】	【今後の生活について】	対応を確認した。住居移転、地域分断、生業継続に
		・全国で保倉川放水路と似た事例があれば、完成期間や橋の数を示して欲しい(2件)。	放水路による住まいを取り巻く生活環境については、関	加え、津波、塩害、内水、地下水の問題について
		・工事が始まれば国道8号は使用できなくなるのか。	係機関と連携・調整を図りながら、機能の保持・回復につ	も、住民の皆さんからご懸念が示されている。類似
		・要望3件(避難場所の対策、通学路の安全確保、住みやすい地区づくり)。	いて丁寧に対応を行います。	事例をご説明しつつ、個別の事情にも十分配慮しな
		・保倉川放水路を作るとなると、影響範囲の住民の人生設計が大きく変わってしまう。ルートが決まったらより		がら、皆さんの不安の軽減に努めて頂きたい。ま
		具体的に示してほしい。また、スピード感を持って進めてほしい。		た、放水路という社会基盤整備を進めることで、地
		・放水路の重要性は理解できるが、今後の生活設計もあるため、具体的なイメージ提示、ルート決定後のスピー		域の人々の日常を安全で豊かになるとという認識
		ド対応等を希望します。代替地、補償等は、誠意ある対応をお願いします。		を、地域の皆さんで共有できるよう対話を続けつ
		【住居が影響するかの確認、家屋移転・農地影響、補償について】	【住居が影響するかの確認、家屋移転・農地影響、補償に	つ、気候の変化による水害の激甚化に鑑み、スピー
		・早期にルートの公表 該当者の移転先の場所の公開。	ついて】	ド感をもって対応して頂きたい。
	地世分日の生活	・ルートの位置を具体的に教えてほしい。どこまでが影響範囲なのかわからない。	事業に必要な用地については、概略ルート決定後に測量	
	地域住民の生活	・現況の貯水池を活用して住宅地への影響をなくすべき。	や詳細な設計を実施したうえで、なるべく速やかに地域の	
		・住宅地に影響しないよう、潟川を改修することで洪水対策に利用できないか。	みなさまに情報提供できるよう努めます。	
		・自分が所有している土地がどのくらいかかるか知りたい(3件)。	なお移転先のご希望などについても関係機関と調整しな	
			がら丁寧に対応させて頂く予定です。	
		・家屋移転となった場合の補償はどうなのか。	保倉川放水路は、豪雨等による浸水被害の軽減やそれに	
		一部がかかっても一筆すべて買収してもらえるのか。	よる地域の産業の維持・発展に寄与するなど、流域全体の	
		・火力送電線計画と並行して進めば不動産会社も分譲しなかったと思われる。移転先は住民の希望を尊重してほ 		
その他			て頂けるよう努力して参ります。	
		・懸念事項について津波の想定をしているが、もし万が一さらに上回ったものが来た場合の補償はされるのか。		
		塩害、JRの鉄橋の騒音被害などデメリットしかない気がするが。それによる土地の資産価値が下がる。この地域に治水対策を押し付けることについてもどう考えているのか。		
		・この地域では大きな台風が来ると用水が溢れるといったことが何度も起きている。内水を排除するポンプは放		対応を確認した。
	内水氾濫の効果		るだけ支障が出ないよう放水路の形状等を検討して参りま	
		・大雨が降るたびに浸水しているので早く完成させてほしい。	す。 【用排水路について】	対応を確認した。
	圃場への影響	【用排水路について】 ・放水路と交差する用排水路の処理計画を明確にしてほしい(5件)。	現況の営農に支障をきたさないよう水利実態について関	別心を唯能した。
			「	
			機能が低下する施設等については、代替施設の検討を行う	
		<b>↑</b>		
			がら進めて参ります。	
		^ と     / 。  ・放水路内の海水により周りの田んぼなどに塩害はないのか。	【海水による影響について】	
		・放水路内に海水を入れないでほしい。台風や津波で、海水が遡上すると田んぼが永久にだめになる不安がある	1 -	
		(2件)。	ころですが、矢板等の機能低下については、定期的に監視	
			するとともに、適切な管理で万全な対応となるよう十分配	
			慮して参ります。	
				<u> </u>

## 意見募集・住民説明会における意見と河川管理者の回答、流域委員会の見解

類 ②小分類	意見	河川管理者の回答	流域委員会の見解
県営南部産業団地	・放水路Bルートは産業団地に影響を及ぼすのか。	放水路の形状等に関する詳細な検討を進め、重要な施設 への影響を把握するとともに、当該施設の安定が損なわれ	対応を確認した。
鉄塔・地下洞道など既存	・火力発電・地下洞道・鉄塔への影響はないか。	ることが無いよう施設管理者と調整を図りながら検討を進	
施設への影響	・放水路河口部に導流堤は設置しないのか。突堤に影響するか心配である。	めて参ります。	
	・津波に関しL1とはどのような規模の想定なのか(3件)。	L 1津波とは、数十年から百数十年に1度程度発生する	
	・L2 津波に対してのシミュレーションはしているのか。	地震を想定しており、既往地震の中で関川河口部が最大津	
	・津波(L1津波)の影響がないことは分かったが、それを超える規模の津波が来た場合、放水路から溢れること		かり進めて頂きたい。
		の津波を想定しているものです。	
	・放水路を作ったことにより生じるリスク(津波の遡上)への対応策はあるのか。	L2津波に対しては、概略ルート決定後、シミュレーショ	
津波遡上	・想定外の津波が来て放水路が決壊した場合、関川、保倉川、放水路、海によって4方向を囲まれてしまう。とて も不安なので、対応策を示してほしい。	アを美胞し、アフト国を含めて関係機関と調整しながら対   応を検討して参ります。	
/丰//// // // // // // // // // // // //	・河口部には津波対策の施設を設置して欲しい。・津波対策の施設を作るべきだ。	心を快削して参ります。	
	・放水路ルートには低海抜の田圃地帯があるので津波を考慮した堤防高さ設計としてほしい。		
	・柏崎原子力発電所は大きな防潮堤を作っている。放水路にも欲しい。		
	・活断層と地震の関係を研究している研究者から、どんなに大きい防潮堤を設置しても津波には耐えきれないと		
	聞いた。地域を守るために土地は売らないし、放水路は絶対反対。		
	・Aルートに関して風の影響が大きい要因は何か。	強風や波浪によるお住まいや営農への影響についても定	対応を確認した。
	・放水路を作ったことにより生じるリスク(海からの強風、水路への転落等)への対応策はあるのか。	量的に計測や予測を行い、必要に応じて軽減策を提案し合	
開削による海風		意をいただきながら進めて参ります。また影響が懸念され	
	・放水路の整備後もモニタリング等を行い、整備案とのデータの剥離や検証を要望します。	る場合は計器類を設置し、放水路事業との関連の有無を判しています。	
<u>t</u>	・河口閉塞は大丈夫か。	断するとともに当該事業による影響と判断された場合は、 すみやかに改善して参ります。	
	・きれいな地下水(4m程度井戸)を使用している。放水路により地下水が分断されることで、影響はないのか。	, W. ( ) ( C ) ( C ) ( C ) ( C )	
	・地下水脈の分断でかんがい井戸への影響はあるのか。		
地下水への影響	・放水路の整備後もモニタリング等を行い、整備案とのデータの剥離や検証を要望します。		
	・放水路の諸元(水路幅、掘削の深さ、最大水位、地盤高との兼ね合い、用地幅はどれくらい確保するか等)を	概略ルート決定後、放水路構造の設計について維持管理	対応を確認した。
	もっと具体的に知りたい。	の観点を考慮しながら進めて参ります。また、その進捗状	
		況についても公表できる段階で皆様にお示しするととも	
		に、地域コミュニティ活動への支障を来さないか地域のみ	
		なさまや関係機関とご相談しながら行う予定です。	
	・最大の200m幅で放水路が完成すると、数軒しか残らず町内として成り立たなくなる。幅は狭くして欲し   、	あわせてまちづくりや放水路空間の利用などについて も、地域のみなさまとお話をしながら進めて参りたいと考	
	い。 ・放水路は分派点まで海水で覆われるのか	も、地域のみなさまとお話をしなかり進めて参りたいと考えております。	
その他	・イメージ図で普段は海水でおおわれているとなっているが、海と放水路の境に堰は設けないのか。	\(\chi_0\)	
(放水路構造)	・放水路分派点は固定堰で確定なのか。・分派点に堰は設けるのか。		
	・河口部に堰を設置するのか。		
	・現在、国道8号、信越本線や農道等の生活に必要な重要な交通網が多くあるが、放水路によって分断された場		
	合、橋はどこに何ヶ所設置するのか(2件)。 ・国道8号橋梁の高さはどれくらいか。		
	・新堀川で矢板がさびてボロボロになっているが矢板の耐用年数はどれほどか。		
	・河口堰、水門の設置、排水ポンプの設置、橋設置、放水路内の堤防のコンクリート化を要望する。		
	・普段は保倉川の水を放水路に流さず、洪水時のみ放水路を使用する計画としているのはなぜか。		

## 意見募集・住民説明会における意見と河川管理者の回答、流域委員会の見解

1)大分類 ②小分類	意見	河川管理者の回答	流域委員会の見解
D人分類	・いつルート案が決まるのか。また、住民が決定案を知ることができるのはいつになるのか。 ・これからの予定を具体的に聞きたい。工事はいつするのか。国・県・市はどういう仕事をするのか。放水路掘削までの事業実施手順を教えて欲しい。(2件) ・放水路完成までのスケジュール(家屋移転、道路、線路移設の工程なども含めて)を知りたい。工事完成までの期間のうち今はどのあたりの段階か。(3件) ・完成目途や用地買収はいつ頃なのか。(2件) ・放水路の完成はいつになるのか。(3件) ・将来設計の目途が立ちにくいというのが一番の不安。多少の変更が生じることは仕方のないことだと思うの	事業のスケジュールについては、今回ルートを1つに絞り込んだのち放水路やまちづくりを含めた詳細な検討を行ったうえで、必要な用地範囲や施工方法、手順などを、	
その他 (放水路事業の賛 意見) その他	で、より早く大きなスケジュールを示していただくことによって具体化していただきたい。 <ul> <li>・放水路は必要であると思う。</li> <li>・放水路事業については賛成であるので早く進めて欲しい。</li> <li>・河川整備が不十分であり、洪水の心配があるため分水する案は賛成である。</li> <li>・A・Bルートの条件比較が異なるのでやり直すこと。海へまっすぐでないと洪水の危険が増加するので、B</li> </ul>	地域の皆様との合意形成を基本に、できるだけ早く事業 を進めて参ります。 保倉川放水路事業については、反対されている方々もい	
(放水路事業の反対 意見)	ルートは廃棄すること。町内分断は橋で解消できるので整備計画ルートで進めること。環境悪化は目に見えるので放水路は作らないのが一番。流域委員会で決定し、それで終わりではなく、一人でも反対がいれば計画は断念すること。		
その他	【まちづくり・地域振興について】 ・ルート決定後、まちづくりについて検討し示してほしい。まちづくり検討に係る組織づくりも必要である。 ・放水路は災害対策施設としての役割以外にも、地域活性化のための発展性がある。住民と密に情報共有して頂き進めて欲しい。 ・放水路事業に伴う振興策はどのように考えているのか。 ・海水遡上による釣り堀としての利用を期待している。 ・放水路によって生じる地域の分断への対策を示してほしい。 【維持管理について】 ・放水路内の土砂堆砂はどうするのか。 ・保倉川河道内で樹木が生い茂っている状況を見ると放水路もそうならないか心配。せっかく作るのだから、維持管理は一元化してしっかりと行って欲しい。 【事業要望】 ・温暖化の影響もあるため、別の方法(ポンプ排水等)も考えたらどうか。 ・潟川の改修工事を並行してぜひやってほしい。	くことが非常に重要であると認識しております。地域のみなさまとご意見を交わしながら国、県、市と連携して取り組んで参ります。  【維持管理について】  保倉川放水路の施設管理については、完成後も適切に管	対応を確認した。
	【説明会について等】 ・住民説明会は土日にやるべきでないか。住民に参加してほしいと言っているがこの時間では参加しづらいし、形だけの説明会の印象がある。日程はどのように考えているのか。 ・説明会資料は町内へ事前に配布を行い周知してほしい。 ・わかりやすい説明をして欲しい。 ・放水路事業は長い年月を要することは承知しているが、国・県の方々は異動時に私達と交わしたことはしっかりと引き継ぐようにして欲しい。 【完成までの対策】 ・20年、30年先の安全も大事だが、それまでに洪水が起きたらどうするのか。何か対策を進めているのか。	やすい説明や参加しやすい時期について調整し、意思疎通をしっかり図って保倉川放水路の検討を進めて参ります。 【完成までの対策】	対応を確認した。